

脳損傷 **サークル
エコー** CIRCLE
ECHO 高次脳機能障害

2014
VOL.56

2

サークルエコー 15周年記念公開シンポジウム開催のお知らせ

3

大阪の関連事業・施設を見学しました

4

心のファイルから●伊藤悦子

7

クラブハウスすてっぷなな 10周年

8

南多摩医療と介護と地域をつなぐ会 第9回フォーラム

9

定時総会報告・TOPICS・活動予定 etc.

10

行事&会合



サークルエコー15周年記念公開シンポジウム 「脳に障害を負った人と家族の今、そしてこれから」開催のお知らせ

脳損傷・高次脳機能障害 サークルエコーは昨年設立から15年を迎えました。当会は、国がこの障害の問題に取り組む前から、認知機能や情動、発動性等の障害が重い高次脳機能障害者の問題を提起し、安心できる環境で適切なサポートを受けることができれば彼らは力を発揮できるということも家族の手記や語ろう会などを通して明らかにしてきました。確かに支援体制の整備は徐々に進んでいますが、こうした高次脳機能障害者が適切な支援を受けることは未だに困難です。そこで、日常生活に支援を要する脳損傷者とその家族の生活上の課題、および当事者の可能性を改めて知っていただくために、当会は下記の通りシンポジウムを開催し、障害があってもその人なりの充実した生き方ができる社会のあり方について考えていきます。

サークルエコー共同代表 田辺和子・山崎光弘

日時●2014年10月19日(日) 10:20(受付開始)～16:20

場所●調布市文化会館 たづくり 大会議室 **参加費**●無料

講師●

渡邊修氏 [東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授]

山河正裕氏 [豊中きらら福祉会「工房羅針盤」施設長]

お申し込みについて

- ◆申し込み開始日……7月1日
- ◆メール、または手紙(エコー会員のみ)に①～⑦を記載して高橋俊夫までお知らせください。
- ①お名前(ふりがな)、②性別、③住所、④電話/FAX番号、⑤勤務先/所属先、⑥お立場(当事者・家族、行政、医療、福祉、関係団体、学生、その他)(複数選択可)、⑦車いすのご利用の有無

メールでお申し込みの場合……echo15sympo@gmail.com

手紙でお申し込みの場合(エコー会員のみ)……〒180-0022 東京都武蔵野市境3-11-18

- ◆申し込み後、受付確認メールが届きますので、ご確認下さい。
- ◆携帯電話をお使いの場合、セキュリティの関係で確認メールが届かないことがあります。セキュリティを解除するか、パソコンを利用するなど確認メールが受信できる環境でお申し込みください。
- ◆個人情報、本シンポジウムの運営のために使用します。

京王新宿線調布駅から徒歩3分
駐車場台数147台(車椅子用4台)
料金100円/30分(障害者手帳提示で免除有)



大阪の 関連事業・ 施設を 見学しました



サークルエコーは、山梨県で開催した10周年記念行事「大いに語ろう会」で、当事者の暮らし、住まいに焦点を当ててディスカッションをして以来、毎年の合宿でもそのことに関し、様々な形で、話し合い(語ろう会)を続けてきました。そうした関心の中で、会報52号、55号には、大阪のグループホームの特集記事を掲載し、大きな反響を呼びました。

10月19日に予定しているエコー15周年記念行事も、「語ろう会」の関心をより多くの方々と分かち合うという目的で開催いたします。その事前調査として、2月6日、7日、大阪に赴き、堺市と豊中市を中心に高次脳機能障害関連事業を見学し、関係者からお話を伺いました。当地の関係者のみなさまには、多大なるご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

見学・懇談会には、企画、主催のサークルエコー共同代表の山崎光弘、田辺和子が両日とも、瀬戸市

の豊田幸子(サークルフレレンズ代表)が、2月7日のみ参加しました。また、ハイリハ東京代表の小澤京子さんが当事者の希予志さんと、6日のみ参加されました。TKK所属の交通事故被害者ネットワークの上田育生さん(豊中市在住)が、両日とも車と運転を提供してくださいました。

見学先等は、下記のとおりです。

◆2月6日(エコー:田辺、山崎、豊田、交通事故ネット:上田さん)

泉大津病院NASVA委託病床↓らしんばんの家・工房羅針盤(グループホーム・作業所)↓交歓会(高槻京都ホテル:山口研一郎医師、羅針盤関係者)

◆2月7日(エコー:田辺、山崎、交通事故ネット:上田さん、ハイリハ東京:小澤さん母子)

クロスジヨブ(高次脳機能障害に特化した就労支援機関)↓堺フラザ(障害者就業・生活支援センター「エマリス堺」、プラザリハ、プール等運動施設など)↓高齢者向けマンションひまわり(COOP関連施設)↓なやクリニック(精神科デイケアを利用した高次脳機能障害の認知リハなど)↓ホームおおみの65(グループホーム)↓交歓会(レストラン「フォンテ」:納谷医師夫妻ほか、見学先の責任者の方々)

7日夜、納谷夫妻、各事業所の責任者の方々との交歓会を終えて、レストランを出ると、外は雪が舞

い始めていました。翌朝、テレビは、20年ぶりの大雪に見舞われた東京の様子を映していました。もちろん、飛行機は欠航。延泊するより仕方ありません。山崎さんは、高槻の親戚へ、私は、震災から20年の神戸へ。30年前、小学生だった息子と訪れた異人館周辺と震災のメモリアルパークをまわりました。飛行機の欠航というトラブルのためとはいえ、思いがけず神戸の温泉宿に、小澤さん母子と宿泊。息子の希予志さんともいろいろ話し、エコーの当事者とは異なる課題を学ぶことができました。

田辺和子

泉大津市立病院(大阪府泉大津市)の「NASVA委託病床」は開設して1年、スタッフの皆さんは「手をかければかけるほど良くなるのが分かり、やりがいを感じています!」と熱っぽくお話しをして下さいました。委託病床は、独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)の委託により運営する病床で、自動車事故により重度の後遺障害が残り、治療と常時の介護を必要とする患者を対象に適切な治療と看護(3年が限度)を提供する専門病床でした。交通事故には縁の無いエコーのメンバーにとつて、NASVAの豊富な財力による物心両面の取り組みはとても新鮮で、うらやましくもありました。

豊田幸子:フレレンズ便りより抜粋

K o k o r o F i l e

心の ファイル から

新 し い 明 日 に 向 か っ て

神奈川県大和市●伊藤悦子

.....助かった命、募る不安

私の夫は、2009年、52歳のときに急性心筋梗塞で倒れ、低酸素脳症による重度の障害を負いました。胸の痛みを訴えて近所の病院に受診したのですが、骨格の問題と誤診されてしまい、帰宅した2時間後に突然倒れてしまったのです。もっとよく問診していただければ、防げた事故だと思います。

何事が起こったのか、私には全く理解できませんでした。すぐに救急車を呼んだつもりだったのですが、急性心筋梗塞の場合、1分1秒を争う事態なので、10分かかってしまったのは致命的でした。さらに、救急病院でカテーテル処置を受けるまでに2時間余りの時間がかかってしまったことも、結果的に障害を重くしてしまいました。

夫の場合、生存率は5%未満だったそうですが、奇跡的に命は助かりました。本人の生命力が強かったのだと思います。当初は、植物状態になって長くは生きられないだろうと言われましたが、1ヵ月後に意識を回復し、やがて自分で食事も取れるようになり、歩けるところまで回復できました。当初の予想に比べれば、驚くほどの回復ぶりでした。とにかく、私はまた生きている夫の姿を見られたというだけで、ありがたいと思いました。

しかし、外見は以前と同じ夫に戻っても、目に見えない脳の障害が重いということが、だんだん分かってきました。特に、最初は言語障害が目立ちました。夫がペラペラと喋っている言葉は、日本語なのですが、何を言っているのかさっぱり分からない、謎の言語だったのです。記憶障害もあり、私や息子2人のことは全く覚えていませんでした。

一度はリハビリ病院に移りましたが、夫には社会復帰も、自宅での介護も無理ということになりました。次はどうしたらいいのか、病院が指示をしてくださるものと思っていたら、3か月以内に自分で転院先を探してくださいと言われてきました。何も分からない私が、どうやって夫に最適の病院を探したらいいのか。不安ばかりが募っていきましたが、誰にも相談できませんでした。私は心身ともに調子を崩して、つらい時期でもあったのですが、ネットの情報や電話帳などを頼りに、精神科の病院を探しました。

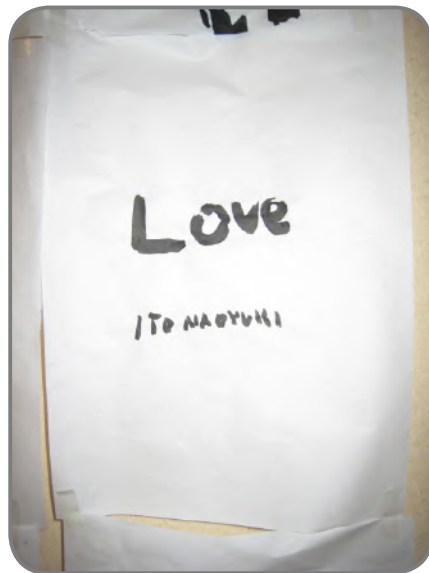
.....絶望の淵へ

ざっと30カ所以上の病院に受け入れをお願いしましたが、高齢者以外はだめ、徘徊のある者はだめという理由で、ほとんど全てのところで断られました。知恵をしぼり、断られた病院の相談員に、他の病院を紹介してもらおうようにしましたが、教えてもらった病院でもまた断られ、また教えてもらっては断られる、ということを延々と繰り返す毎日でした。最後のほうでようやく、「どこも受け入れてもらえなかったら、もう一度連絡してください」と言ってくださったところが2カ所ありました。なかには、入院予定日直前になって高額な差額ベッド料金の前払いを要求してくるような病院もあり、急遽キャンセルしたこともありました。

困って市の障害福祉課にも相談しましたが、そこで紹介された5カ所の病院にもあっさりと断られてしまいました。こんなときにこそ助けてくれるはずの行政にも助けてもらえないのだと知って、愕然



施設の大広間もお気に入り



書道に挑戦

としました。その頃の私は、毎日片道2時間かけて病院に通っていましたし、ふたりの息子たちは大学受験と就活中、やがては収入も無くなって、これからの生活のことも何とかしなければならなかったし、何もかもひとりで背負って、心身共に本当につらく、絶望の中に沈んでいました。

……………独りではないことを知って

半年ほど経った頃だったと思いますが、藁をもつかむ気持ちで、神奈川県リハビリテーション病院の協働事業室を訪ねてみたのです。そこで脳外傷友の会「ナナ」の方からサークルエコーを紹介していただきました。そして、私はやっと同じ悩みを分かり合える人と出会うことができたのです。自分がひとりではないと思えただけで、救われたような気がしました。

その後、転院した病院では親切にいただき、ご厚意でリハビリも週2回受けさせていただけるようになりました。おかげさまで夫の状態も少し落ち着いたので、次は病院よりも家庭的な環境での生活に移してあげるのが本人のためにもよいと思い、今度は施設を探すことになったのです。

……………何処に行けばよいのか教えて

しかし、重度の高次脳機能障害者のための専門の施設というものはないので、結局、高齢者の施設を当たってみるしかありません。ここでも、病院探し

のときと同じように、また受け入れを断られることが続きました。まず老健では特養に行くよう勧められ、特養ではグループホームを勧められ、やっと入所できたグループホームではすぐに退所勧告が出て、病院に戻るべきだと言われてしまいました。いったい、夫は何処に行けばよいというのか、誰か教えてくださいと叫びたい気持ちになりました。

低酸素脳症が原因による高次脳機能障害は、脳外傷のケースに比べれば少数派ですし、一般的に、より重度の障害が残ります。そのため、介護する家族の方々の負担は大きく、窮状を行政に訴えて改善を求めたいという気持ちは強くあっても、渦中の家族の方々は、目前にある自分と家族の毎日の生活を何とかすることだけで手一杯、声を上げたくても上げられないまま時間が過ぎていく、というのが現状ではないでしょうか。私の場合、家族会の皆様のご尽力のおかげだと思いますが、障害者手帳や障害年金もスムーズに受け取ることができたことは幸運で、本当にありがたいと思っています。でもまだまだ困難な現状がありますので、なんとか少しでも改善していただきたいです。

……………家族の絆、それぞれの居場所

その後、親戚の方の紹介で、大和市内の特養に入所することができました。私としては、夫に機能回復のためのリハビリを受けさせて、いつかは自宅に戻してあげたいという気持ちがあります。理想を言

えば、重度の障害者でも長期的なりハビリが受けられる施設があればいいのと思うのです。しかし、現状では無理ですし、そこは諦めるしかありません。現実的な選択として、今の施設での生活がベストなのだろうと思っています。ここでは、職員の方々が親身になって、夫に合った介護をしようと努力してくださいますので、私もやっと安心して、夫のことをお任せできると思えるようになりました。

現在、入所して1年半が過ぎたところです。リハビリができないぶん、夫の体力はだんだん落ちてきているのが心配ですが、表情はずいぶん穏やかになりました。会話もできるようになり、少しずつですが脳機能も回復がみられます。調子のよいときには、私が妻だと分かってくれます。

5年近くも自宅を離れてしまった夫にとっては、今や施設が我が家のような場所になりつつあります。私のことは、時々訪ねて来てくれるお客さんのような感じで接してくれます。家族としては、気持ちが離れていくようで淋しくはありますが、一方で安心もしました。

二人の息子たちも今は社会人になって、私のことを労わってくれます。3人で力を合わせて頑張っていこうと話し合い、家族の絆は以前よりも強くなったように感じられることは幸せです。私の肩の荷も少し軽くなったので、これからは、夫のことを気に掛けつつ、私自身の生活も大事にしていこうと、気持ちを切り換えることにしました。夫も、そう望んでくれているはずだと、そう思って、過去に引っ張られてしまう思いを断ち切ることにしたのです。

.....目標があるから乗り切れる

これからは、私が経済的に自立しなければなりません。私は結婚以来、ほとんど専業主婦の生活でしたので、夫が倒れたときには、この先どうやって子ども達と生活していけばよいのかと途方に暮れました。しばらくはショック状態でしたし、とにかく夫に毎日会いに行き、少しでも回復を助けてあげなければと思っていたのですが、仕事もせずにいたのですが、神奈川リハ病院に行ったときに、ボランティアの司法書士さんが家族会の方の相談を受けていらっ

しやるのを見かけて、自分にも何かできないかと考え、とりあえず行政書士を目指そうと思い立ちました。

最初はテキストを読みながら泣いているような状態で、全く勉強にはなりません。その後パートの仕事を始め、家事と施設に通う合間に勉強を続けましたが、時間が足りず、試験直前に夫の急病や転院もあって、あと1歩で合格できません。やっぱり今の私には無謀な挑戦だったのかと落ち込みました。でも、諦めてしまえば、続けてきたことが無駄になると思い直し、4回目の受験でやっと合格することができました。

真っ暗闇の中で、生きる希望も失くしてしまっているとき、自分の目標を見つけて、頑張れば何とかできると思えたことが、ずっと私の心を支えてくれました。

行政書士にはなれたものの、ここはゴールではなく、やっとスタート地点に立てたに過ぎません。年齢的にも遅いスタートで不安はありますが、私にもできることはあると信じて、これから実務の勉強に取り組んでいきます。皆様のお力になれるような仕事ができるよう、夫にも見守ってもらいながら頑張ります。



施設の玄関前で

クラブハウス すてっぷなな 10周年

S t e p N A N A

3月21日「すてっぷなな10周年記念講演会」が開催され、サークルエコーからは8名が参加しました。「すてっぷなな」は息子が6年間、通所したところです。「10年の歩み」の話の中で知っている人の顔がスライドに写ったり、名前が出ることで、楽しそうに、ずーっと聞きっていました。隣の席に福島先生がいらしたこともありますが…。統括所長の野々垣さんと所長の澤島さんはたびたびエコー合宿にも参加、色々ご協力していただきました。この度、澤島さんからメッセージをいただきましたので、感想と共に紹介します。●●●横浜市・西田宏美

平成26年3月21日(金・祝)に「すてっぷなな」10周年記念講演会を横浜市開港記念会館講堂にて開催しました。約180名の方にご参加いただき当日の運営は利用者・ボランティアが中心となり行いました。講演会に向けて事前に準備(会場見学、受付練習、タイムテーブル確認等)を重ね当日は混乱や緊張したりなど普段では体験できないような時間を過ごせ職員も10年という一区切りがつかしました。

「すてっぷなな」は約10年前の平成16年4月クラブハウスすてっぷなな運営委員会が母体の「障害者地域作業所」として開設、平成22年4月運営母体をNPO法人脳外傷友の会ナナに変更し「地域活動支援センター作業所型」となりました。また、平成22年には横浜市の業務委託を受け「自立生活アシスタント事業」を開始しています。

2つの事業はそれぞれ特色があります。作業所は将来就職したい、進学したいというニーズのある高次脳機能障害者に特化した施設であり継続的に通所するのではなくある程度の期間を経て次のステップへつながるよう支援をしています。作業は多種多様なものがあり、犬用クッキー作り、宅急便梱包・発送作業や企業とのやりとり・受注作業など幅広く利用者の状態・状況に合わせて作業を行っています。また、自立生活アシスタントは横浜市単独事業で、障害のある单身生活者などを対象に障害特性を踏まえた生活力・社会適応力を高める支援を行い、地域生活の維持を目標としています。本人が実際に生活している場面で障害のアセスメントを実施し、生活への助言や環境設定などが支援の中心です。この事業は「直接処遇を行わない」ため関係機関との連携が欠かせないものとなっています。

クラブハウスすてっぷななの運営(事業や活動)にあたっては、相互に情報交換や意見交換等サークルエコーにも多大なご支援をいただきました。新たな10年に向けて今後もご支援のほどよろしくお祈りします。●●●澤島光洋

会場の受付で、びしっと決めたスーツ姿のメンバー達、まさに就活に臨む学生達のような姿でした。すてっぷななの十年の実績が見られる頼もしい姿を拝見しました。これからの活躍、発展を祈ります。●●●横須賀市・田川三枝子

今回、会場が横浜市開港記念会館であることと、田川さんご夫妻も出席されるというので参加しました。印象に残ったことは渡辺修先生の“脳”についての講演でした。脳はちょっとプリンのようなものをイメージするという具体的な形を示され、その中に命の源と人間としてのあらゆる指令が出されるということを改めて感じました。またすてっぷななに関係した方々のご苦労と一步一步のあゆみから今日があるのだと感じられた一日でした。ありがとうございました。●●●逗子市・愛敬子



大好きな野々垣さんと



2階も素敵でした

南多摩医療と介護と地域をつなぐ会 第9回フォーラム

3月15日・16日、南多摩フォーラムが行われ、15日は「失われた言葉のきずな」の上演会に田辺が、16日のシンポジウムには田辺、西田(2)、山崎が参加しました。今年のテーマは「掘り起こせ！地域リハビリの底力」で、永生病院の依頼を受けて一般演題で田辺が、私たちの活動報告(ポスター発表)で山崎がエコーの活動と地域との関わりについて発表しました。私たちの活動報告に際しては永生病院のスタッフの方々、南多摩圏域の家族会の皆さんと有意義な情報交換ができました。発表のために作っていただいたA0サイズのポスターは15周年記念シンポジウムでも掲示しますので、参加いただける方は是非ご覧ください。

山崎光弘



南多摩の情報交換



発表の様子



エコーのポスター作りました

サークルエコーの活動

- えこーたいむ(定例会)●外出
- 広報 ●会報(1000部×4回) ●ホームページ 他
- 交流合宿(語ろう会を開催)
- 相談窓口(電話・メールなど)
- 調査、研究 ●行政交渉
- 東京高次脳機能障害協議会(TKK)加盟団体
- 日本脳外傷友の会(JTBIA)と連携

会報
(創刊号～55号)



発表資料の一部

定期総会報告

4月16日に定期総会が開かれました。今年度は役員改選はありません。決算報告と共に、今年度の事業計画、予算案等が審議され、承認されました。

平成25年度決算報告書
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

単位:円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	355,024	活動費	308,409
会費	457,000	通信費	42,081
寄付金	177,000	電話料	101,610
雑収入	0	印刷費	58,510
助成金	0	消耗品費	99,709
受取利息	58	旅費交通費	120,350
合宿参加費	143,600	接待交際費	41,645
		福利厚生費	10,000
		雑費	3,997
合計	1,132,682	合計	786,311
		次期繰越金	346,371

【会計監査(高橋俊夫)による監査済】

TOPICS

高次脳機能障害支援普及事業

支援コーディネーター会議・全国協議会

2月20日と21日の二日にわたって今年も支援コーディネーター会議・全国協議会が開催されました。両会議を通じたテーマは移動支援で、公共機関の利用だけでなく自動車運転のための評価・リハビリテーションについての実践が紹介されました。特に、一部の都市部を除いては、生活のために自動車の利用は欠かせないので、適切な評価と訓練の手法が広まっていく事は非常に大切です。ただし、訓練を受けても単独での移動が難しい方も大勢います。こうした方たちは通院等介助や移動支援を利用しなければなりません。精神科デイケアや就労継続支援等への通所目的の場合、移動支援の利用が認められない自治体もあり、これがネックとなって必要なサービスを利用できない方もいます。リハビリによって単独での移動が出来る人だけでなく、こうした方たちへの支援の地域格差についても考えていかないといけないですね。

[山崎光弘]

ご支援ありがとうございました。

2014年2月～5月までにご寄付、賛助会員費をお寄せくださった方々です(順不同・敬称略)。

佐野章子 / 上田育生 / 矢田正幸 / 澤田透 / 柴田玲子 / 中田文枝 / 佐藤佳枝 / 綿森淑子 / 吉田芥子 / 水野正憲 / 谷田部良子 / 七五三
いよ子 / 斎藤紀久男 / 古閑八枝子 / 柳谷幾代 / 長瀬せい子 / 柴崎
美穂 / 五味田美恵子 / 沢田真智子 / ワークセンターひかわ

活動予定

えこーたいむ	6/21、7/19、8/16
運営会議	随時

他の日にイベントなどがある場合、えこーたいむの活動日を変更することがあります。

入会のご案内

正会員……入会金 1,000 円 ● 年会費 3,000 円

賛助会員……年会費 1 口 2,000 円

振込口座……郵便振替 00180-0-546112 サークルエコー



行事&会合

01/29	東京ボランティアセンター訪問	飯田橋：東京ボラセン	田辺
01/29	賛助会員・支援者へ報告 (MOMI 研)	飯田橋	田辺
02/02	会報編集会議 (コア)	稲城市：田辺宅	田辺 2、高橋 2、西田 2、山崎
02/06	大阪調査	豊中市・堺市・高槻市：らしんばんの家他	田辺、山崎、豊田 p.2 参照
02/07	大阪調査	堺市：ホームおおみの他	田辺、山崎 p.2 参照
02/09	えこーたいむ・会報 55 号印刷	武蔵野プレイス	高橋
02/12	発送作業	武蔵野：高橋宅	田辺、西田 2、高橋 2、田川 3、山崎、 廖、佐野さん
02/16	司法書士・社会福祉士による福祉なんでも相談会	稲城：地域振興プラザ	田辺
02/16	マリン横須賀	久里浜：ゆんるり	田川、愛
02/17	第 19 回 難病当事者による難病当事者のための勉強会	白金台：明治学院大学	山崎
02/18	TKK 高次脳機能障害相談・支援室	狛江：慈恵第三	田辺、高橋
02/20	高次脳機能障害支援普及事業 支援コーディネーター会議	三田：三田共用会議所	田辺、山崎
02/21	高次脳機能障害支援普及事業 全国協議会	三田：三田共用会議所	田辺、山崎、高橋
02/23	活動報告&懇談	稲城：田辺宅	赤塚先生、田辺、山崎
02/23	提携等話し合い ((株) Growth 平井氏)	稲城：田辺宅	田辺、山崎
02/25	第 9 回 社会福祉事業のあり方検討会	新宿：日本障害者センター	山崎
02/28	助成金関連事業所に訪問	高田馬場：東京共同募金、虎の門：日本財団	田辺、山崎
03/01	助成金関連報告 & 会計打ち合わせ	稲城：田辺宅	田辺、西田 2
03/02	第 3 回北多摩南部医療圏 高次脳機能障害地域支援研修会	狛江：慈恵第三	高橋
03/07	会報編集会議	川崎：生田緑地、登戸：マクドナルド	田辺、山崎、高橋、西田、尾崎
03/09	Y 氏宅お参り	調布	田辺 2、西田 2
03/10	第 20 回 難病当事者による難病当事者のための勉強会	白金台：明治学院大学	山崎
03/11	TKK 高次脳機能障害相談・支援室	狛江：慈恵第三	田辺
03/11	第 10 回 社会福祉事業のあり方検討会	新宿：日本障害者センター	山崎
03/15	南多摩医療と介護と地域をつなぐ会 第 9 回フォーラム (映画「言葉のきずな」)	八王子：八王子市学園都市センター	田辺
03/15	講演会「高次脳機能しょうがいの回復のコツ」(関氏)	国立：市民体育館	田辺、西田 2
03/16	南多摩第 9 回フォーラム / 発表 (田辺・山崎)	八王子：八王子市学園都市センター	田辺、山崎、西田 2
03/16	TKK 相談員研修会「軽度高次脳機能障害について」(渡邊氏)	新宿：都センター	高橋 2
03/16	TKK 医療及び家族相談会	狛江：慈恵第三	高橋 2
03/16	マリン横須賀	久里浜：ゆんるり	田川、愛
03/17	成年後見について (小平ケアタウン長谷氏と懇談)	調布：たづくり内 Pallas	田辺、山崎
03/19	TKK 相談委員会議	武蔵境：武蔵野プレイス	田辺、高橋 2
03/19	社会福祉事業のあり方検討会 東日本ブロック会議 (発表 山崎)	さいたま市：埼玉県障害者交流センター	山崎

03/20	第14回 高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会 傍聴	西新宿：都心障	田辺
03/21	クラブハウスすてっぷなな10周年記念講演会	横浜：開港記念会館	西田3、田川2、山崎、愛、福島
03/24	介護事業所 NPO 法人さんさん訪問・懇談(大西理事長)	狛江：さんさん	田辺
03/25	TKK 高次脳機能障害相談・支援室	狛江：慈恵第三	高橋
03/26	取材(東京ボラセン 熊谷氏、朝比奈氏)	稲城：田辺宅	田辺
03/26	コア会議	稲城：田辺宅	田辺、西田2、高橋2、田川2、山崎、福島
03/27	講演「知れば防げる脳卒中」(府中恵仁会病院 福地氏)	多摩市：ココリアホール	田辺
04/01	TKK 高次脳機能障害相談・支援室	狛江：慈恵第三	田辺
04/04	懇談会打ち合わせ(熊谷氏、森氏、秋池氏、ReBit 代表、日本 OCD 代表)	飯田橋：東京ボラセン	田辺
04/06	第73回 水彩連盟展	六本木：国立新美術館	村田3、山崎、高橋2
04/07	難病当事者による難病当事者のための勉強会 WT	白金台：明治学院大学	山崎
04/11	ゆめ応援ファンド 助成金贈呈式	飯田橋：東京ボラセン	山崎
04/11	TKK 高次脳機能障害相談・支援室	狛江：慈恵第三	高橋
04/12	懇談会(山口氏、柴本氏、川口氏、中村氏、稲川氏)	紀尾井町：オーバカナル	田辺
04/15	第11回 社会福祉事業のあり方検討会	新宿：日本障害者センター	山崎
04/16	キリン財団報告書「難治性疾患をもつ人の生活実態と生活支援ニーズに関する調査報告書 3. 調査結果のまとめと考察(山崎執筆担当) 提出		山崎
04/19	総会	稲城：稲城市立 I あいプラザ	田辺2、西田2、高橋2、田川2、山崎
04/20	TKK アプローチ講習会実行委員会	国領：あくろす 3F 会議室	田辺、高橋2
04/20	マリン横須賀	久里浜：ゆんるり	田川、愛
04/21	調布市と調布市民生委員会に15周年事業への後援依頼	調布：調布市役所	山崎
04/23	武蔵野市に15周年事業への後援依頼	武蔵境：武蔵野市役所	山崎
04/23	東京ボラセンと3団体代表の懇談会「セルフヘルプグループについて」	飯田橋：東京ボラセン	田辺
04/23	三鷹市に15周年事業への後援の相談・依頼	三鷹：三鷹市役所	山崎
04/23	日本障害者協議会(JD) 政策委員会	新宿：新宿区福祉会館	山崎
04/28	狛江市に15周年事業への後援の依頼	狛江：狛江市役所	田辺
04/29	小金井市に15周年事業への後援の相談	武蔵小金井：小金井市役所	山崎
05/03	コア会議	武蔵野：高橋宅	田辺2、西田2、高橋2、山崎
05/06	会報印刷について打ち合わせ(尾崎氏)	武蔵境：武蔵野プレイス	高橋、山崎
05/07	東京都に15周年事業への後援依頼		山崎
05/09	TKK 高次脳機能障害相談・支援室	狛江：慈恵第三	田辺
05/09	第12回 社会福祉事業のあり方検討会	新宿：日本障害者センター	山崎
05/13	稲城市15周年事業への後援依頼		山崎
05/13	稲城地区配分すいせん委員会に意見書の作成依頼		山崎
05/13	TKK 高次脳機能障害相談・支援室	狛江：慈恵第三	田辺
05/14	東京都共同募金 A 配分助成金申請		山崎
05/16	TKK 高次脳機能障害相談・支援室	狛江：慈恵第三	高橋
05/17	コア会議	稲城：田辺宅	田辺、高橋2、西田2、山崎、福島
05/18	TKK アプローチ講習会	港区：慈恵医大	田辺、高橋2、山崎
05/18	マリン横須賀	久里浜：ゆんるり	田川、愛

サークルエコー

事故や病気によって脳に損傷を受けると、新しいことが覚えにくくなったり、意欲が低下したり、感情のコントロールが難しくなるなどのため、社会生活の様々な場面で問題が生じることがあります。このような後遺症を高次脳機能障害といいます。目に見えにくい障害のため、社会の理解を得にくいこと、したがって現行の福祉制度を利用することが難しい点が大きな問題となっています。サークルエコーは、高次脳機能障害をとりまく問題の中で、特に日常生活にも援助が必要な人たちの問題に取り組んでいます。



発行

サークルエコー

〒206-0824 東京都稲城市若葉台3-1-1 C-405 田辺方

TEL&FAX042-350-3292

kako.m.d.t.1201@nifty.com

ブログ <http://circleecho.blog.fc2.com/>

ホームページ <http://www.circle-echo.com/>

[ニュースレターがカラーで見られます]



編集人……東京都稲城市若葉台 3-1-1 C-405 田辺方●脳損傷・高次脳機能障害 サークルエコー

発行人……東京都世田谷区砧 6-26-21●特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価……100円(定価は会費に含まれる)